



小野の小町  
 浮世源氏  
 繪六編  
 京山作豊國画  
 大森屋青林

~ 13  
 3743  
 11



山東菴京山作

小野浮世源氏繪



第六編

上



門へ13  
號3743  
卷11

おしえのきりぎりすのうらな  
 おしえのきりぎりすのうらな  
 おしえのきりぎりすのうらな  
 おしえのきりぎりすのうらな

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

されん人となつてよくを考ふるに  
 されん人となつてよくを考ふるに  
 されん人となつてよくを考ふるに  
 されん人となつてよくを考ふるに

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが

あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが  
 あまのこゝろもあつちのれが





五々六六とまじりてゐる人々の世もせいぜい今日の中  
 はでりりたるにふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた  
 十三年あるむすめのお花下女の中も小まごもそのや  
 たんのなかよりといへばよくよきお花下女のおまごも  
 こころをうつたふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた  
 てまへへへへへとむねのこころのこころのこころのこころ  
 かへへへへへとむねのこころのこころのこころのこころ  
 時もうへへへへとむねのこころのこころのこころのこころ

①  
 うちの  
 るまの  
 よびよせ

②  
 みせ  
 おき  
 ま



③  
 ませ  
 ④  
 ませ  
 ⑤  
 ませ

⑥  
 あつ  
 の女がけかかりたりより  
 りらけとせよとさす  
 のたちのあつたる  
 ナーヤとまをつけられて  
 せんりたるくさうさう  
 考へたりけれん千ち  
 きもさうがいへて  
 かんじとあらはれ  
 となとあらはれ

浮世は白き海



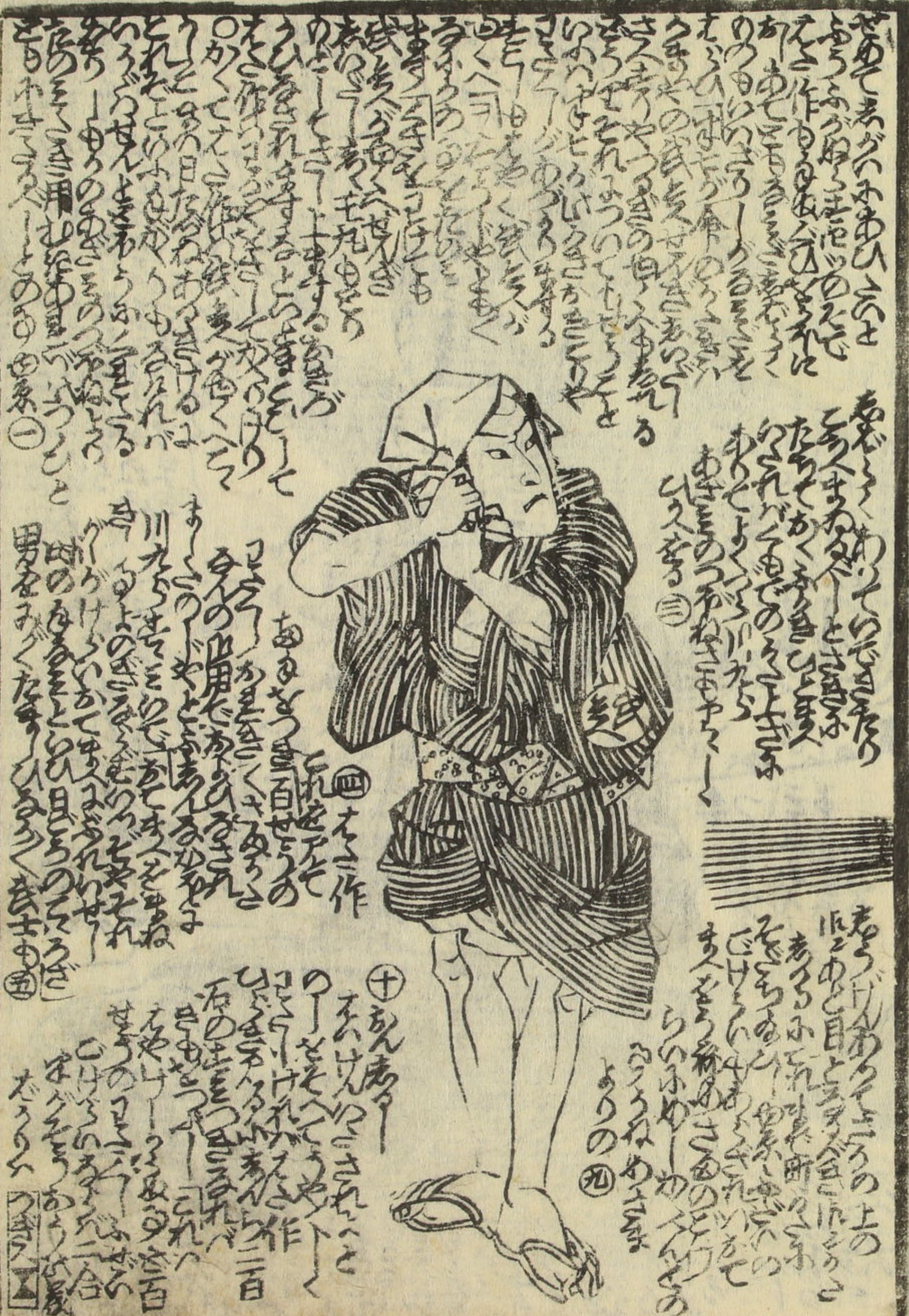
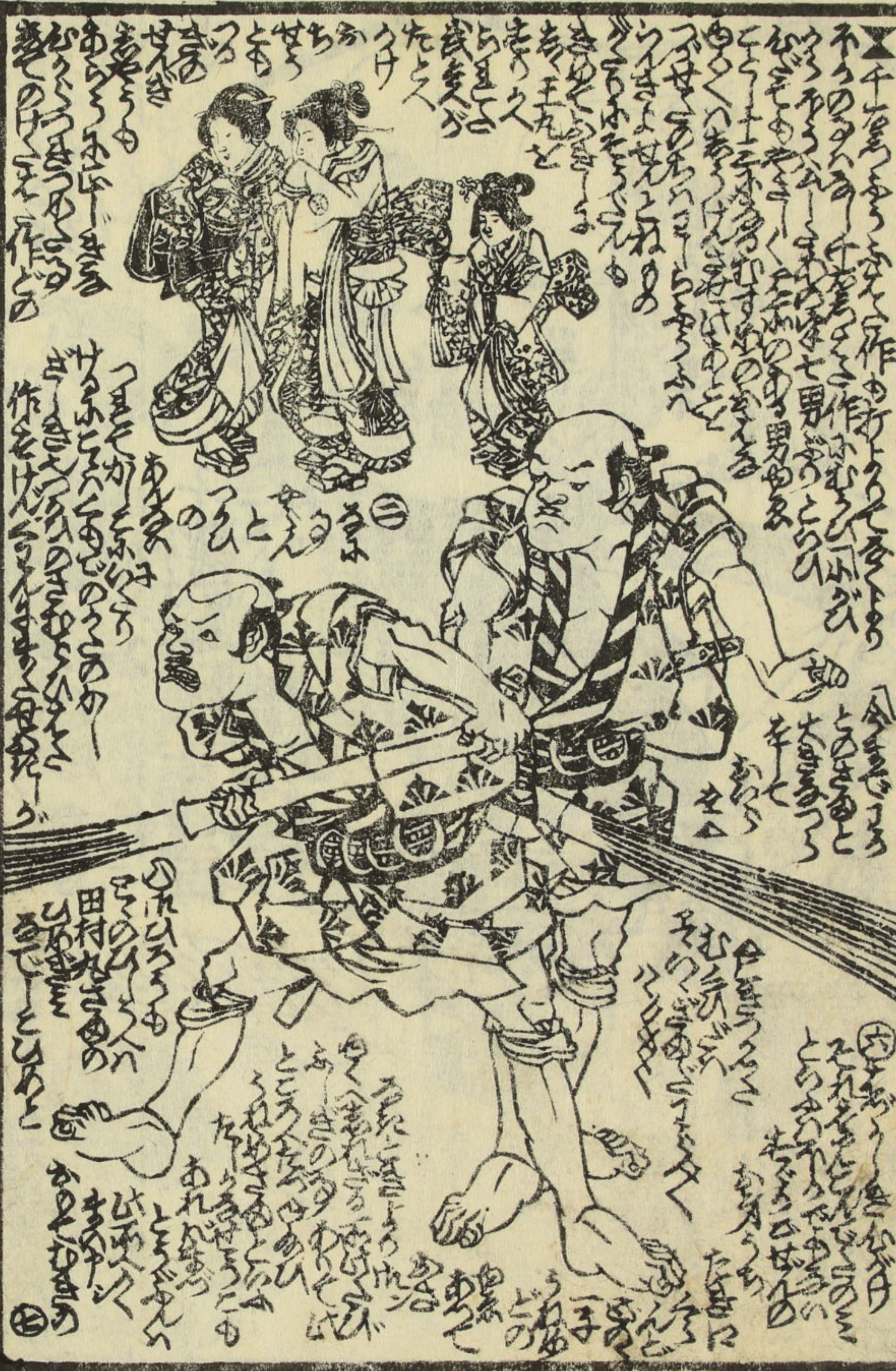














△かろければなり作あんと  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの  
かろければなり作あんと  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの



①  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの  
かろければなり作あんと  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの  
かろければなり作あんと  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの  
かろければなり作あんと  
あつてのうらみせうこの  
たのぶ武家集あ  
あつてのうらみせうこの  
かろければなり作あんと

